

製品名: ACTR-IB ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06562**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	56kDa

抗原情報

遺伝子名	ACVR1B
別名	ACVR1B; ACVRLK4; ALK4; Activin receptor type-1B; Activin receptor type IB; ACTR-IB; Activin receptor-like kinase 4; ALK-4; Serine/threonine-protein kinase receptor R2; SKR2
遺伝子 ID	91.0
SwissProt ID	P36896
免疫原	抗血清はヒト ACV1B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 73-122

背景

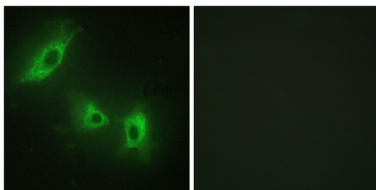
この遺伝子はアクチビン A の IB 型受容体をコードしています。アクチビンは、構造的に関連するシグナル伝達タンパク質であるトラ

トランスフォーミング成長因子ベータ (TGF- β) スーパーファミリーに属する、二量体の成長因子および分化因子です。アクチビンは、少なくとも2つのI型受容体と2つのII型受容体を含む受容体セリンキナーゼのヘテロ多量体複合体を介してシグナル伝達します。このタンパク質はシグナル伝達に不可欠なI型受容体です。この遺伝子の変異は下垂体腫瘍に関連しています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2010年6月]、触媒活性: ATP + [受容体タンパク質] = ADP + [受容体タンパク質] リン酸。補因子: マグネシウムまたはマンガン。機能: リガンドが結合すると、2つのII型膜貫通型セリン/スレオニンキナーゼと2つのI型膜貫通型セリン/スレオニンキナーゼからなる受容体複合体を形成します。II型受容体はI型受容体をリン酸化・活性化し、I型受容体は自己リン酸化した後、SMAD 転写調節因子に結合して活性化します。TTRAP をリン酸化します。PTM: 自己リン酸化されます。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。TKL Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。TGF β 受容体サブファミリー。類似性: 1つのGSドメインを含みます。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。サブユニット: AIP1 と相互作用します。AIP1、ACVR2A、ACVR1B、および SMAD3 からなる複合体の一部です。TTRAP と相互作用します。組織特異性: 多くの組織で発現しますが、腎臓、膵臓、脳、肺、肝臓で最も強く発現します。

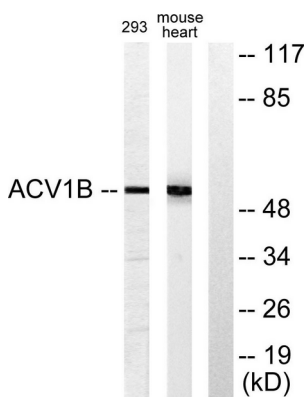
研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein; サイトカイン - サイトカイン 受容体 相互作用; エンドサイトーシス; TGF-beta; Adherens_Junction; がんにおける経路; 結腸直腸がん; 膵臓がん; 慢性骨髄性白血病;

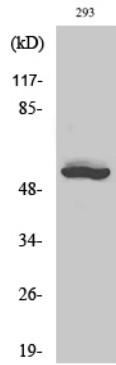
画像データ



ACV1B 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



ACV1B 抗体を用いた 293 およびマウス肝細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ACTR-IB ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。